

# ポーランド政治・社会情勢

## (2012年2月23日～29日)

平成24年(2012年)3月2日

H	E	A	D	L	I	N	E	S	
<p><b>政治</b></p> <p>トウスク首相, パヴラク副首相と年金制度改革に関し協議                  米国防副長官, ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊を訪問                  トウスク首相及びシエモニャク国防相, 国防省支出削減・組織改善策を発表                  在ベラルーシ・ポーランド大使に対する国外退去命令                  ウクライナ前内相への有罪判決に対する外務省声明                  ワイマール・トライアングル外相会合                  外務次官, EU加盟国大使と協議                  ポーランド・ベラルーシ関係に関する外務省報道官発言</p> <p><b>経済</b></p> <p>トウスク首相, 原子力発電所建設計画には変更なし                  原子力エネルギーに関する広報キャンペーン                  CCSプロジェクトが加速化                  ポーランド・リトアニア・ラトビア・エストニアが共通農業政策改革草案を批判                  化学関連産業の成長                  2012年GDP成長率見通し                  コンパニア・ヴェングロヴァ社が石炭生産を拡大する新戦略を発表                  経済省副大臣がEUのCO2排出削減目標引き上げに反対                  EURO2012前に道路整備が大きく遅延</p> <p><b>社会</b></p> <p>ポーランド人の遅刻実態                  飲酒運転摘発者数が増加                  工業用塩の食品混入疑惑                  ナショナルスタジアムで初の試合が開催</p> <p><b>大使館からのお知らせ</b></p> <p>平成24年度分教科書の配付について                  ヴロツワフ領事出張サービスについて                  東日本大震災義捐金受付について                  文化行事・大使館関連行事</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、滞在留届を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先 大使館領事部 電話 22 686 5005 Fax 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>	
在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 <a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm">http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</a>									

政	治
内	政

**トウスク首相、パヴラク副首相と年金制度改革に関し協議【23日】**

23日、トウスク首相は、連立パートナーであるパヴラク副首相(農民党(PSL)党首)と会談し、年金制

度改革に関する協議を行った。同改革内容について双方で合意に達しなかったものの、連立政権は維持することで確認がなされた。

外	交
---	---

**米国防副長官、ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊を訪問【24日】**

24日、カーター米国防副長官がポーランド軍アフガニスタン派遣部隊“White Eagle”を訪問。グルシユカ作戦軍司令官、ヴワデウシュ第10次派遣部隊司令官らと会談し、グルシユカ中將がアフガニスタンにおける作戦及び同盟国軍との協力要領を説明。

**ウクライナ前内相への有罪判決に対する外務省声明【29日】**

29日、外務省は、ルツェンコ・ウクライナ前内相への有罪判決に対するポーランドの懸念を表明する声明を発表。

**トウスク首相及びシモニャク国防相、国防省支出削減・組織改善策を発表【24日】**

24日、トウスク首相及びシモニャク国防相は、任期開始100日後の各施策実施状況について会談した後、ガヴロン級コルベット艦建造計画の中止、将官ポストの削減、海外派遣において負傷・死亡した兵士に対する補償制度の開始等、支出削減・組織改善策を発表。

**ワイマール・トライアングル外相会合【29日】**

29日、ベルリンにおいて、ワイマール・トライアングル外相会合が開催され、EU予算、シリア情勢、ベラルーシ情勢及びロシアの大統領選挙について協議。シコルスキ外相は、EUのベラルーシに対する条件付制裁政策は継続されると発言。

**在ベラルーシ・ポーランド大使に対する国外退去命令【28日】**

28日、ベラルーシ当局は、同国に対するEUの制裁の報復として、在ベラルーシ・ポーランド大使及び同EU大使に国外退去を命令。

**外務次官、EU加盟国大使と協議【29日】**

29日、ナウエンチ外務次官は、EU加盟国大使を招致し、ポーランドとの連帯のため、在ベラルーシEU加盟国大使が近日中にベラルーシを離れる措置をとったことに謝意を表明。

**ポーランド・ベラルーシ関係に関する外務省報道官発言【29日】**

29日、ボサツキ外務省報道官は、「ベラルーシとの外交関係を断絶する予定はない」と発言。

経	済
---	---

**トウスク首相、原子力発電所建設計画には変更なし【23日】**

ゴンスキにおいて地域住民による原発建設への反対デモが行われたことを受け、トウスク首相は、政府の原子力発電所建設計画には変更がない旨発言した。また、EU加盟国の中で原子力発電に対して慎重となっている国があるが、これによりポーランドの立場が変わることはないとの付け加えた。なお、同首相は、より多くの主体がプロジェクトに参加することを示唆・推奨することを排除しなかった。

2012年に支出される。キャンペーンの目標は原子力エネルギーや放射能に対する理解の向上。経済省が2009年以来行ってきた調査によれば、回答者の80%以上が原子力エネルギーや放射能について知らない、又は殆ど知らないと回答しており、国民の原子力エネルギーに対する理解度の低さが、原子力プロジェクトに対する支持が低い水準(約40%)にとどまっている直接的な原因であるとしている。

**原子力エネルギーに関する広報キャンペーン【23日】**

経済省は3月1日から原子力エネルギーに関する広報キャンペーンを開始する。3年間で2千2百万ズロチをかけて実施し、そのうち8百万ズロチが

**CCSプロジェクトが加速化【23日】**

PGE社が二酸化炭素回収・貯留(CCS)プロジェクトを加速化している。専門家の助言に従い、既にウッジ北部のWojszyceを投資地区に選定。同社のベウハトフ発電所から排出されたCO2も、特別のパイプラインによって同地区に輸送され、輸送の

ための特別のパイプラインを敷設する企業を特定するための入札が行われる。PGE社によれば、設備導入にかかる総費用は6億ユーロ(約25億ズロチ)と見積もられ、うち1.8億ズロチがEU基金によって賄われるとのことである。

### ポーランド・リトアニア・ラトビア・エストニアが共通農業政策改革草案を批判【23日】

23日、ポドラスキエ県で開催された会合でポーランド、リトアニア、ラトビアの農業大臣及びエストニア政府高官が、欧州委員会提案の共通農業政策(CAP)を批判。会合では、2013年以降のCAP改革の鍵となる、直接支払い制度の改正、農村振興の問題、市場向け農業経営組織について議論。サヴィツキ農業相は、改革草案を「改革的ではなく内向き」と評した上で、各国間で大きな乖離のある直接支払い水準を是正しようとしていないと指摘。また、草案は単純な手続きとなっており、多くの不要な行政手続を生み出すだろうと警告。

### 化学関連産業の成長【23日】

ポーランド化学産業協会によれば、現下の経済危機にもかかわらず、化学セクターは成長を続けており、収入は21.1%上昇し、これに伴い価格及び収益も上昇。化学市場の3分の2を占めるプラスチック及び肥料の生産が牽引し、ポーランドの肥料生産企業の売上げは、2011年に20%上昇。国内販売の他、輸出も伸びており、2007年レベルである2,800万トンまで回復。今後の見通しについても、独の専門家が、欧州の化学製品需要は5%伸びると予測しているのと同様、協会も楽観的な予測を示している。問題はポーランドの企業が需要の増加に応えられるかどうかである。

### 2012年GDP成長率見通し【23日】

欧州統計局の発表によると、2012年のポーランドのGDP成長率は2.5%で、域内最高となる見通し。前四半期比では0.5%増。他方、欧州全体では成長率はゼロ。ベルカ中央銀行総裁も2012年の成長率について言及し、成長のペースは現在堅調だが、今後減速が見込まれ、2.5~3%と予

測しているとコメント。ただし個人的には、より楽観的な見通しを有していると明かした。

### コンパニア・ヴェングロヴァ社が石炭生産を拡大する新戦略を発表【24日】

コンパニア・ヴェングロヴァ社(欧州最大の無煙炭生産会社、ポーランド市場におけるシェアは47~49%)は、2012~15年の新戦略を発表。同社は、石炭の生産を現在の年産3千9百万トンから、2020年までに同4千3百万トンに拡大する方針。また、掘削費用を削減して、更なる投資に資金を充てる計画。ストジェレク=ロボジンスカCEOは、投資を現在の年間8億ズロチから同14億ズロチに拡大する旨発言。当該支出の半分は安全基準の向上を目的としている。また、同社は、パートナー会社とともに石炭火力発電所を建設し、発電事業を行うことを望んでいる。

### 経済省副大臣がEUのCO2排出削減目標引き上げに反対【27日】

カトヴィツェで行われたIEAの報告書のプレゼンテーションに際し、トムチキエビッチ経済省副大臣は、CO2排出削減に関する国際的な合意なしに欧州のみが気候変動問題に取り組むのは実効性がないため、エネルギー・ロードマップ2050の交渉を開始することは無意味であり、更にポーランドは、2020年までのCO2排出削減目標の引き上げに反対である旨述べた。また、同副大臣は、3月又は4月に開催予定の欧州理事会のフォーラムで、ポーランド政府の立場が示されるであろうと述べた。

### EURO2012前に道路整備が大きく遅延【29日】

サッカー欧州選手権(EURO2012)開催を前に、スタジアム建設は100%完成したが、現在ポーランドが直面している大きな問題は道路整備である。3年から5年の期間をかけて道路投資を加速することが重要であったものの、これまで、高速道路については、当初期待していた1,000kmの建設延長を大きく下回る、わずか400kmを建設したにすぎず、準高速道路についても、2,000kmの延長予測に対して、440kmしか整備されていない。

## 社 会

### ポーランド人の遅刻実態【27日】

5人に1人のポーランド人が、1週間に1度仕事に遅刻している - このような調査結果が、ワーク・サービス社による調査により明らかとなった。また、遅刻を説明するための理由としては、子女の幼稚園又は学校への送迎(30%)、寝坊(29%)、渋滞(19%)、交通機関の遅れ(10%)等が挙げられてい

る。

### 飲酒運転摘発者数が増加【29日】

国家警察本部の統計によると、2011年に飲酒運転により摘発された人の数は、前年比1万7千人増の18万3千人に上ることがわかった。飲酒運転を理由とする事故件数は2,717件(前年比11%増)、

負傷者数は3,753人(前年比10%増)、死者数は300人(前年比21%増)であった。なお、O B O P社による世論調査では、14%のドライバーが酒気帯び運転をしたことがあると答え、15.5%の人が酒気帯び運転の車に同乗したことがあると答えている。

### **工業用塩の食品混入疑惑【29日】**

警察は、工業用塩を食品流通過程に流入させた疑いがあるとして、ヴウォツワヴェクにある化学工場の関係者5人を摘発。ポリ塩化ビニルを製造する過程

でできた工業用塩が、食品加工工場に販売され使用された疑いがある。捜査当局は、ポーランド国内の工業用塩が混入した疑いのある食品加工工場の検査を進めている。

### **ナショナルスタジアムで初の試合が開催【29日】**

29日、サッカー欧州選手権(EURO2012)の会場となるワルシャワのナショナルスタジアムにおいて、同スタジアム初となる公式戦が開催された。約5万人の観客が来場し、試合は、ポーランド対ポルトガル、0対0という結果となった。

## 大使館からのお知らせ

### **平成24年度分教科書の配付について**

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成24年度分教科書を配付いたします(ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません)。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j\\_20120201.html](http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120201.html)

### **ヴロツワフ領事出張サービスについて**

大使館は、3月3日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Wroclaw Panorama(Pl. Dominikanski 1, 50-159, Wroclaw)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは、下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoji\\_sabisu\\_0112.pdf](http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoji_sabisu_0112.pdf)

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年3月31日(土)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

### **〔開催中〕 展示会「浮世。日本美術からインスピレーションを受けたヤン・スタニスワフスキとその弟子の絵」 【2月21日(火)～5月31日(木)】**

狩猟・乗馬博物館にて、日本美術技術博物館との協力により、「浮世。日本美術からインスピレーションを受けたヤン・スタニスワフスキとその弟子の絵」と題する展示会が開催されています。風景画をテーマにした展示で、モダニズム派のポーランド人画家による作品及び日本の浮世絵が展示されます。入場料は大人3PLN(木曜日は入場無料です)。

問合せ先・開催場所: 狩猟・乗馬博物館(住所: Ul. Szwolzerow 9, Warszawa(ワジェンキ公園敷地内)、電話: 22 522 66 30、Eメール: [mlij@muzeum.warszawa.pl](mailto:mlij@muzeum.warszawa.pl))

### **〔開催中〕 「着物対スーツ 60年代の日本」写真展 【2月23日(木)～3月24日(土)】**

ワルシャワのフォトプラスティコン・ギャラリーにて、ワルシャワ蜂起博物館主催による、「着物対スーツ 60年代の日本」と題した写真展が開催されています。写真展のほか、茶道デモンストレーションや折紙ワークショップ等が予定されています。

問合せ先・開催場所: ワルシャワのフォトプラスティコン(住所: Al. Jerozolimskie 51、電話: 22 629 60 78、Eメール: [fotoplastikon@1944.pl](mailto:fotoplastikon@1944.pl)、ホームページ: <http://fotoplastikonwarszawski.pl/>)

### **〔開催中〕 武蔵野美術大学の学生による日本現代美術展示 【3月1日(木)～2日(金)】**

当館広報文化センターにて、武蔵野美術大学の学生による日本現代美術展示が開催されています。学生達が初めてポーランドを訪問し、それぞれの作品を披露します。入場は無料です。

問合せ先・開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 7300, Eメール：[info-cul@emb-japan.pl](mailto:info-cul@emb-japan.pl)）

**〔予定〕「友情は、津波にも負けない！」チャリティコンサート【3月2日(金)】**

クラクフにて、「プウォツクの子供たち」民族舞踊団主催による、宮城県の被災者のためのチャリティコンサートが開催されます。三味線演奏者である市川響氏の演奏も予定されています。入場料は被災者支援のために寄付されます。

問合せ先：HZPiT Dzieci Plocka (住所：Jachowicza 34, Plock, 電話：24 262 31 45, Eメール：

[kontakt@dzieciplocka.pl](mailto:kontakt@dzieciplocka.pl), ホームページ：<http://www.dzieciplocka.pl/>)

開催場所：Nowohuckie Centrum Kultury (住所：Al. Jana Pawla II 232, Krakow, 電話：12 644 02 66, Eメール：[nck@nck.krakow.pl](mailto:nck@nck.krakow.pl))

**〔予定〕「Zywioł」チャリティコンサート【3月5日(月)】**

クラクフのフィルハーモニーにて、京都クラクフ基金主催により、東日本大震災地気仙沼市市民への義援活動を目的とするチャリティコンサートが開催されます。集められた募金は当館の義捐金口座を通して日本へ送金される予定です。

問合せ先：日本美術技術博物館「マンガ」(住所：M. Konopnickiej, Krakow, 電話：12 267 27 03, Eメール：

[fundacja@manggha.krakow.pl](mailto:fundacja@manggha.krakow.pl), ホームページ：<http://www.manggha.krakow.pl/>)

開催場所：クラクフ・フィルハーモニー (住所：Zwierzyniecka 1, Krakow, 電話：12 619 87 21, Eメール：

[fk@filharmonia.krakow.pl](mailto:fk@filharmonia.krakow.pl), ホームページ：<http://www.filharmonia.krakow.pl/>)

**〔予定〕将棋ワークショップ【3月7日(水)】**

当館広報文化センターにおいて、将棋ワークショップが開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 7300, Eメール：[info-cul@emb-japan.pl](mailto:info-cul@emb-japan.pl)）

**〔予定〕書道ワークショップ【3月13日(火)】**

当館広報文化センターにおいて、書道ワークショップが開催されます。講師は、高瀬佳世氏(書道5段)です。宮城県出身の高瀬氏は東日本大震災の被災者であり、現在、ボランティアとしてポーランドで活動しています。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は、広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 7300, Eメール：[info-cul@emb-japan.pl](mailto:info-cul@emb-japan.pl)）

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

#### **皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

#### **【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 [newsletter@emb-japan.pl](mailto:newsletter@emb-japan.pl)  
(ご連絡は電子メールでお願いします。)